

款 8 土木費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
20,487,632,870 円	19,132,736,121 円	93.4%	1,279,845,837 円	75,050,912 円

項 1 土木管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
902,206,000 円	889,367,786 円	98.6%	0 円	12,838,214 円

目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
902,206,000 円	889,367,786 円	98.6%	0 円	12,838,214 円

〔一般職給〕 8 2 人 707,562,643 円（県支出金 2,009,110 円）
（その他特財 16,513,164 円）
〔嘱託職給〕 1 人 2,712,636 円

（建築指導課）

目的	法律等に基づき建築物の安全を確保し良好な住環境とする				
指標	完了検査合格率	目標	90%	実績	92.0% (18年度 86.6%)
説明	建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資する観点から完了検査合格率の向上が重要であると捉え、必要な普及、啓発を行いました。工事監理者、建築主に対してハガキ、電話での通知、督促等を実施し、目標を達成しました。また、指定確認検査機関への申請が増加していることから、指定確認検査機関にも完了検査合格率向上の要請を行いました。				

〔建築指導事務費（建築確認支援システム）〕 3,597,300 円（その他特財 3,597,300 円）
〔委員報酬〕 79,000 円

- ・ 建築審査会委員 7 人
- ・ 旅館建築審査会委員 5 人

完了検査合格率の推移

区 分	1 6 年度	1 7 年度	1 8 年度	1 9 年度
四日市市	81.4%	85.9%	86.6%	92.0%
全国平均	73.0%	76.1%	79.0%	-

その他経費

〔建築指導事務費（定期報告・防災関係・耐震相談等）〕 809,544 円（その他特財 809,544 円）
耐震改修に関する学習会、相談会経費（7 会場）
〔建築指導事務費〕 8,495,942 円（県支出金 105,000 円）
（その他特財 8,390,942 円）
〔全国建築審査会協議会等負担金〕 332,000 円（その他特財 332,000 円）

(市街地整備・公園課)

目的	道路後退用地整備による住環境の向上				
指標	総延長に対する累計整備延長	目標	3.80%	実績	3.93% (18年度 3.66%)
説明	狭あい道路対策として道路拡幅用地の寄附を受け道路整備を進めています。平成19年度は寄附件数、延長ともに昨年度に比べ約1割増となり、累計整備延長は目標を0.13%上回りました。				

〔狭あい道路対策費〕

129,678,740 円

狭あい道路後退用地整備事業実績

区 分	寄 付	舗装等の整備	助成金の交付	件 数
件数(件)	211 件	149 件	測量分筆登記	158 件
延長(m)	4,080 m	3,229 m	支障物件除去	74 件
面積(m ²)	2,655 m ²	2,344 m ²		

(営繕工務課)

目的	安全で使いやすい公共建築物等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間における不具合発生率	目標	0%	実績	1.4%(1件/71件) (18年度 2.1%、2件/97件)
説明	各部署から依頼された建築物等の新築、増築、改修、耐震補強工事及び設備工事の設計、監督を行いました。 この業務を行うに際しては、安全で使いやすい施設であることはもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に配慮するとともに、バリアフリー化に努めました。不具合発生率については、1.4%(改修済み)でしたが、不具合の内容を把握して今後の業務に活かし、不具合率0%達成に努めます。				

〔営繕事務費〕

3,905,379 円

〔公共建築協会等負担金〕

385,800 円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事・委 託	計
経営企画部関係施設	四日市保健所内電気設備改修工事 四日市保健所内検査室電気設備改修工事設計業務委託	2 件
総務部関係施設	人権プラザ神前相談室等改修工事 小牧西児童館屋根等補修工事 人権プラザ神前相談室等改修工事設計業務委託	3 件
税務理財部関係施設	市庁舎耐震改修工事 市庁舎耐震改修工事監理業務委託	2 件
市民文化部関係施設	文化会館耐震補強工事 文化会館第1ホール吊り物更新工事 あさけプラザ冷温水発生機改修工事	1 3 件
楠総合支所関係施設	楠歴史民俗資料館他外壁塗替工事	1 件

保健福祉部関係施設	三重保育園改修工事 橋北保育園他 8 園耐震診断業務委託 西老人福祉センター入浴施設レジオネラ属菌対策工事	19件
商工農水部関係施設	食肉センター・食肉市場豚部分肉カット室改修整備工事 四日市競輪場敢闘門他電気暖房設備工事 北勢公設地方卸売市場組合施設改修工事	16件
環境部関係施設	北大谷斎場火葬施設整備工事 小牧町西火葬場解体工事 楠衛生センター電気設備変圧工事	6件
都市整備部関係施設	四日市市駐車場案内システム撤去工事 坂部が丘市営住宅サッシ改良工事 高花平市営住宅耐震補強工事 茂福市営住宅耐震補強工事	23件
教育委員会関係施設	楠小学校改築工事 海蔵小学校給食室改修他工事 常盤中学校バリアフリー化工事 霞ヶ浦体育館耐震補強等改修工事	47件
消防関係施設	四日市市中消防署中央分署整備事業（建築工事） 四日市市中消防署中央分署整備事業監理業務委託 消防本部補助訓練塔・危険物火災対応薬剤備蓄タンク設置他工事	9件
合計		141件

（道路整備課）

〔土木積算システム業務費〕 4,148,293 円（その他特財 1,103,000 円）

（用地課）

〔未登記道路調査事業費〕 25,058,966 円
未登記道路を解消するための調査、測量および登記等を行う費用

項 2 道路橋梁費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,699,584,570 円	2,248,395,048 円	83.3%	431,000,228 円	20,189,294 円

目 1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
250,560,000 円	241,517,958 円	96.4%	0 円	9,042,042 円

〔一般職給〕 16 人 150,219,389 円（県支出金 2,787,477 円）

（都市計画課）

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	事業進捗状況	目標	早期整備	実績	国道 477 号 A・B 区間進捗率 70.7% (18 年度 67.9%)

説明	新名神高速道路、東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス並びに国道477号バイパス等の整備促進を図るため、各期成同盟会による国、県、関係機関への要望や啓発イベントを行うとともに、各事業路線の事業進捗のため、関係機関と事業調整及び関係地区への事業説明を行いました。また、同盟会を再編し重要路線要望に活動を絞り込みました。実績は国道477号バイパスを代表としました。
----	---

路線名	18年度進捗率（進捗状況）	19年度進捗率（進捗状況）
新名神高速道路	中日本高速道路㈱が四日市JCT～菰野IC間で設計計画の地元説明、公図混雑地調査に、菰野IC～亀山JCT間で測量、土質調査に着手した。	<ul style="list-style-type: none"> 四日市JCT～菰野IC 設計計画協議の成立（八郷、保々地区）において、「設計協議確認書」を調印 菰野IC～亀山西JCT 測量調査に基づき設計計画図面を作成（水沢地区）
国道1号北勢バイパス	<ul style="list-style-type: none"> 大矢知地区内の本線下部、上部工事を推進 富田山城線～国道477号バイパス間の地元協議成立箇所から用地立会に着手 	<ul style="list-style-type: none"> 大矢知地区 本線下部工、上部工等の工事を推進 三重地区 設計計画協議（関係自治会すべて成立）、用地幅杭設置・用地境界立会・用地単価提示 神前地区 設計計画協議を継続
富田山城線	100.0%	
国道477号バイパス	67.9%	70.7%

〔負担金〕	2,521,000円
・北勢バイパス建設促進期成同盟会等負担金	1,240,000円
・日本道路協会等負担金	1,281,000円
〔広域基幹道路整備基金積立金〕	7,218,402円（その他特財 7,218,402円）

（管理課）

〔道路台帳整備事業費〕	13,648,950円
市道 7,802路線 2,130.2km	

（用地課）

目的	道路・河川・水路・公園の官民境界査定				
指標	処理件数		1,130件		1,045件
	処理日数	目標	40日	実績	39日 (18年度 1,066件 40日)
説明	市が管理する道路・河川・水路・公園（官地）と、それに接した土地（民地）との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。処理件数が減少したにも関わらず、目標を大幅に上回ることができなかった理由は、北勢バイパス、新名神高速道路など、広範囲の区域の境界立会いが実施されたため、それにかかる事前調査・立会いに時間を要したことによります。このほか、事務の効率化を図るため、境界査定管理システムの導入作業を開始しました。（システム稼働は平成21年度末予定）				

〔境界査定業務費〕	33,787,950円
-----------	-------------

その他経費

〔負担金〕	146,800円
・用地対策連絡協議会等負担金	

目2 道路維持費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
352,063,000 円	351,730,126 円	99.9%	0 円	332,874 円

〔一般職給〕	14人	111,648,662 円
〔再任用職給〕	1人	3,791,002 円
〔嘱託職給〕	1人	3,039,000 円

(道路整備課)

目的	道路の維持				
指標	道路損傷個所での事故件数	目標	17年度比10%減 (13件以下)	実績	7件 (18年度15件)
説明	安全で円滑な交通を確保し、道路瑕疵による交通事故を抑制するため計画的な道路パトロールを実施し、道路損傷個所の早期発見と早期補修に努めました。				

〔道路雪氷対策費〕	16,070,000 円	委託料(9件)	14,070,000 円
		需用費(融雪剤)	2,000,000 円
〔道路維持修繕費〕	206,643,273 円	委託料(104件)	172,229,252 円
		原材料費(100件)	18,046,441 円
		負担金(2件)	8,018,000 円
		工事請負費(3件)	7,717,100 円
		道路事故賠償金(7件)	632,480 円

目3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,523,711,570 円	1,236,406,164 円	81.1%	282,600,228 円	4,705,178 円

〔一般職給〕	4人	26,219,832 円
--------	----	--------------

(道路整備課)

〔明許繰越〕	303,922,570 円
--------	---------------

〔地方道路整備臨時交付金事業費(道路)〕	121,320,000 円
----------------------	---------------

事業区分 (施工個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (山分町地内)	工事費 L=120.7m W=14.0m 橋台工 1基 排水工 L=287.8m 函渠工 L=49.4m 用地費 A=247.15 m ² 補償費 物件移転補償1件 事務費	67,330,000	国庫支出金	66,726,000
			市債	54,500,000

・大鐘 19 号線 (中村町他 2 町地内)	工事費 L=205.0m W=11.0m 小型水路工 L= 336.8m カルバート工 L= 15 m 舗装工 A=3,862 m ² 橋梁工 1 橋	6,340,000		
・東坂部 20 号線 (東坂部町地内)	工事費 L=194.1m W=16.0m 側溝工 L= 375 m 擁壁工 L= 202 m 舗装工 A=4,061 m ² 事務費	26,080,000		
・小杉新町 2 号線 (小杉新町地内)	工事費 L=164.8m W=12.0m 側溝工 L= 596 m 舗装工 A=1,812 m ² 用地費 A=637.83 m ² 補償費 物件移転補償 1 件 事務費	21,570,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 計		121,320,000		121,226,000

〔地方特定道路整備事業費(道路)〕

111,956,100 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大矢知富田線 (大矢知町地内)	工事費 L=135.0m W=16.0m 舗装工 A=1,890 m ² 排水工 L= 284 m	11,266,100	市	債 69,600,000
・大鐘 19 号線 (大鐘町地内)	委託料 地質調査業務 1 式 設計業務 1 式 工事費 L=291.0m W=11.0m ブロック積工 A= 196 m ² 水路工 L= 387 m 舗装工 A=2,386 m ² 事務費	70,210,000		
・下海老寺方線 (寺方町地内)	用地費 A=1,381.46 m ² 補償費 工作物補償 1 件 事務費	30,480,000		
地方特定道路整備事業費(道路) 計		111,956,100		69,600,000

〔準幹線道路整備事業費〕

16,519,150 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永東日野線 (日永西一丁目地内)	工事費 L=330.0m W=7.8~8.9m 排水工 L=202.4m 舗装工 A=2,210 m ²	16,519,150		

〔道路改良単独事業費〕

17,379,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・松原14号線 (松原町及び 西富田二丁目地内)	工事費 L=102.6m W=4.0m 側溝工 L=96.9m 舗装工 A=240 m ² 事務費	5,088,000		
・西富田7号線 (富田栄町及び 西富田町地内)	工事費 L=40.0m W=4.6m 床版工 L=34.8m 側溝工 L=35.5m 舗装工 A=213 m ² 事務費	5,165,000		
・山村平津線 ・東坂部20号線 ・大鐘19号線	工事費 付帯工 事務費	7,126,000		
道路改良単独事業費 計		17,379,000		

〔道路舗装事業費〕

36,748,320 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山之一色51号線 他2線 (山之一色町 及び垂坂町地内)	工事費 L=1,523.0m W=6.5~7.0m 舗装工 A=10,308 m ²	36,748,320		

(道路整備課)

目的	幹線道路の整備				
指標	幹線道路の整備延長	目標	1,151 m	実績	806 m (18年度 1,082 m)
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動を支えるための市内幹線道路ネットワークの整備に取り組みました。平成19年度は山村平津線、東坂部20号線等の事業進捗に努めました。平成19年度の実績については、用地交渉や施工協議の遅れにより、翌年度へ繰越したために目標を下回りました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
大鐘19号線	平成9年度~平成20年度	91.5%
東坂部20号線	平成16年度~平成20年度	95.8%

小杉新町2号線	平成18年度～平成24年度	21.4%
山村平津線	平成8年度～平成22年度	84.4%

[地方道路整備臨時交付金事業費(道路)] 210,720,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (伊坂町及び 西大鐘町地内)	用地費 A=1,433.57 m ² 補償費 物件移転補償1件 事務費 (一部平成19年度 明許繰越)	15,640,000	国庫支出金 市 債	115,896,000 94,800,000
・東坂部20号線 (東坂部町及び 小杉新町地内)	工事費 L=152.0m W=16.0m 側溝工 L=235.7 m 擁壁工 L= 76.1 m 舗装工 A=2,197 m ² 用地費 A=557.31 m ² 補償費 物件移転補償1件 事務費 (一部平成19年度 明許繰越)	43,400,000		
・小杉新町2号線 (東坂部町他2町地内)	用地費 A=1,158.92 m ² 補償費 物件移転補償8件 事務費	70,800,000		
・山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)	工事費 橋台工 1基 橋脚工 1基 用地費 A=717.15 m ² 補償費 物件移転補償3件 事務費 (一部平成19年度 明許繰越)	80,880,000		
地方道路整備臨時交付金事業費(道路) 計		210,720,000		210,696,000

[県営事業負担金] 6,083,500 円

・国道306号外6線 道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕

2,601,578 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 公共用地特会への支出	2,601,578		

目的	準幹線道路の整備				
指標	整備延長	目標	450 m	実績	383 m (18年度 0 m)
説明	幹線道路の整備効果を高める目的で幹線道路へ接続する補助幹線的な生活道路の整備に取り組みました。平成19年度は、日永東日野線における踏切改良工事や下海老寺方線の用地取得を実施しました。平成19年度の実績については、下海老寺方線における用地交渉の遅れにより、翌年度へ繰越したために目標を下回りました。				

〔地方特定道路整備事業費(道路)〕

41,010,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・下海老寺方線 (寺方町他2町地内)	委託料 用地測量業務 建物調査業務 用地費 A=825.52 m ² 補償費 物件移転補償8件 事務費 (一部平成19年度 明許繰越)	41,010,000	市債	41,000,000

〔準幹線道路整備事業費〕

74,149,772 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永東日野線 (日永西一丁目及び 日永一丁目地内)	負担金 踏切拡幅工事 用地費 A=194.65 m ² 補償費 物件移転補償1件	58,149,772		
・大鐘19号線 (中村町地内)	工事費 L=140.0m W=8.0m 擁壁工 L=157.0 m 水路工 L=165.0 m 舗装工 A=1,330 m ² (一部平成19年度 明許繰越)	16,000,000		

目的	一般市道の整備				
指標	施行延長	目標	4,027 m	実績	4,467 m (18年度 7,849 m)

説明	地域からの要望に応えることにより、道路が良くなっていると実感できる道づくりに取り組んでいます。平成19年度は、楠駅新浜町線の用地取得や西村53号線の整備を行いました。また、下野保々線等劣化の著しい道路の再舗装を行ったほか、居住地域内の狭小道路の改良や劣化の著しい道路の再舗装等を行い市民生活の安全性の向上に努めました。
----	---

〔主要道路リフレッシュ事業費〕 29,933,400 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 下野保々線 外6線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=6,736 m ² L=991.5 m 委託料 調査設計業務委託	29,933,400		
主要道路リフレッシュ事業費 計		29,933,400		

〔生活に身近な道路整備事業費〕 341,681,039 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔舗装新設〕 ・水沢茶屋町16号線 外11線 (市内一円)	工事費 舗装新設工 A=3,843 m ² L=1,329 m	13,827,450		
〔再舗装〕 ・西村大長線 外21線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=10,506 m ² L=2,331 m	33,808,300		
〔舗装付帯〕 ・東坂部三ツ谷線 外95線 (市内一円)	工事費 側溝工 L=3,419m 擁壁工 L=628m 防護柵工 L=448m	155,180,750		
〔その他〕 (市内一円)	その他道路施設工及び交通安全施設工 1式	138,864,539		
生活に身近な道路整備事業費 計		341,681,039		

〔道路改良単独事業費〕 160,753,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・平尾48号線 (平尾町地内)	委託料 測量設計業務 用地費 A=323.40 m ² 補償費	10,820,793	その他特財	1,325,625

	残地補償 1 件			
・楠駅新浜町線 (楠町南川地内)	委託料 測量設計業務 用地費 A=96.04 m ²	6,679,629		
・西村 5 3 号線 (西村町地内)	工事費 L=180.0m W=5.0~5.8m 側溝工 L=31.2m 舗装工 A=699 m ²	4,273,500		
・山田 1 0 号線 外 2 7 線 (市内一円)	委託料・工事費 用地費・補償費 事務費 (一部平成 1 9 年度 明許繰越)	138,979,078		
道路改良単独事業費 計		160,753,000		1,325,625

〔道路舗装事業費〕

19,998,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 山之一色 5 1 号 外 4 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=12,942 m ² L=1,883 m	10,833,480		
〔舗装付帯〕 ・水沢茶屋本町線 外 1 線 (水沢町地内外)	委託料 測量業務委託 工事費 路肩整備工 L=67m	9,164,520		
道路舗装事業費 計		19,998,000		

〔市街地整備・公園課〕

〔地区計画道路整備事業費〕

9,399,450 円

路線名	事業内容	実施額
小林地区内道路	道路築造工事 幅員 6 m 延長 97m 用地測量 1 式 補償 2 件(物件移転 1 件、立木補償 1 件)	9,399,450

〔管理課〕

〔私道整備補助金〕

1,906,590 円

- ・智積町地内 外 1 件

〔駐車場案内システム整備事業費〕

16,731,433 円

- ・駐車場案内システムの廃止に伴う駐車場案内板等の撤去工事

目4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,000,000 円	1,990,800 円	99.5%	0 円	9,200 円

(道路整備課)

目的	適切な橋梁の維持管理				
指標	補修橋梁数	目標	2 橋	実績	2 橋 (18 年度 4 橋)
説明	橋梁修繕に先立つ関係機関との協議を実施するとともに歩道橋の再塗装を実施し、橋梁施設の維持管理に努めました。				

〔橋梁修繕工事費〕 1,990,800 円

目5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
571,250,000 円	416,750,000 円	73.0%	148,400,000 円	6,100,000 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕 13,150,000 円

〔橋梁整備単独事業費〕 13,150,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・つんつく大橋 (日永西一丁目及び日永西二丁目地内)	工事費 L=32.0m W=16.0m 落橋防止装置設置工 9 箇所 変位制限装置設置工 7 箇所	13,150,000	市 債	12,400,000
橋梁整備単独事業費 計		13,150,000		12,400,000

目的	橋梁の整備				
指標	落橋防止整備済橋梁数(累計)	目標	3 4 橋	実績	3 2 橋 (18 年度 31 橋)
説明	近い将来発生が危惧されている東海・東南海・南海地震等の大規模地震災害に備え、緊急輸送道路・防災連絡道路をはじめ市街地や主要路線上の橋梁の耐震化を橋梁耐震化計画の優先順位に従い計画的に実施しています。 平成 19 年度の成果としては、日永跨線橋の落橋防止対策工事、三重橋の下部工事を完成させました。また、新市計画プランに基づく磯津橋については、橋脚 5 基の補強に着手しました。指標に掲げている落橋防止済橋梁数の実績については整備対象としている東名阪に架かる橋梁について道路管理者との協議に時間を要し平成 19 年度に実施することができず目標を下回りました。				

〔石原南五味塚線（磯津橋）橋梁整備事業費〕 311,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・磯津橋 (塩浜町地内)	工事費 橋脚補強工 5 橋脚 (一部平成19年度 明許繰越)	311,600,000	市 債	311,600,000

〔地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁)〕 50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永跨線橋 (大字日永他3町地内)	工事費 落橋防止工 11 箇所 変位制限工 11 箇所 事務費	47,780,650	国庫支出金 市 債	27,500,000 22,500,000
・新小角橋 (萱生町地内)	委託料 耐震設計業務	2,219,350		
地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁) 計		50,000,000		50,000,000

〔橋梁整備単独事業費〕 42,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三重橋 (桜町及び菰野町 大字神森地内)	工事費 橋台工 2 基 護岸工 1 式	42,000,000	市 債 その他特財	19,900,000 21,000,000
橋梁整備単独事業費 計		42,000,000		

項 3 交通安全対策費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
238,811,000 円	235,403,912 円	98.6%	2,721,000 円	686,088 円

目 1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
127,833,000 円	124,428,871 円	97.3%	2,721,000 円	683,129 円

〔一般職給〕 4 人

34,328,144 円

〔嘱託職給〕 1 人

2,647,198 円

(管理課)

目的	交通安全に関する啓発事業を実施する				
指標	交通安全に関する講習会等の実施回数	目標	70 回	実績	78 回 (18 年度 65 回)

説明	高齢者の関連する死亡事故が急増していることから、高齢者に啓発の力点において各種教室や講座を実施しました。その結果、交通事故発生件数も昨年より減っております。
----	--

〔交通安全啓発推進費〕 1,775,943 円

<参考> 交通安全に関する講座・講習会等の実施回数

区分	16年実績	17年実績	18年実績	19年実績	19年目標
回数	53回	52回	65回	78回	70回

その他経費

〔放置自転車対策事業費〕 33,727,166 円（その他特財 1,429,405 円）

撤去台数 放置禁止区域 1,390 台 禁止区域外 2,222 台

〔違法駐車対策事業費〕 1,470,420 円

重点地域の巡回パトロールを委託 啓発指導件数 1,436 台

〔四日市市交通安全協議会補助金〕 3,300,000 円

〔負担金〕 20,000 円

三泗地区交通安全対策協議会

（道路整備課）

〔交通安全施設等管理費〕 47,160,000 円（その他特財 144,000 円）

市内道路照明灯電気使用料

目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
110,978,000 円	110,975,041 円	100.0%	0 円	2,959 円

〔一般職給〕 1 人 6,157,000 円

（道路整備課）

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	交通安全施設の実施件数	目標	500件	実績	468件
説明	市民誰もが安心して社会参加でき、快適に暮らせる社会環境を確保した歩行空間づくりのため、平成21年度を目処に堀木日永線、赤堀末永線、四日市中央線、金場新正線の一部において延長1,900mの歩道及び自転車歩行者道の整備を計画しており、このうち平成19年度は四日市中央線を302m整備しました。また、市内全域において、防護柵やカーブミラーなどの修繕を250箇所、区画線の修復を58箇所、照明灯の修繕を160灯実施し、交通安全施設の維持管理に努めました。				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
堀木日永線外3線 (歩道・自転車歩行者道整備)	平成16年度～平成21年度	67.0%

〔交通安全施設整備補助事業費〕 50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源

・四日市中央線 (安島二丁目外5町 地内)	委託料 歩道詳細設計業務 工事費 L=337m W=22.0m 排水工 L=264.8m 舗装工 A=4,089m ² 照明灯工 28基 事務費	50,000,000	国庫支出金 市 債	27,500,000 10,100,000
-----------------------------	---	------------	--------------	--------------------------

〔交通安全施設整備単独事業費〕 56,898,041円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・天力須賀3号線 外2線 (市内一円)	工事費 歩道整備工 L=156m 交差点改良工 1箇所	10,832,850		
・その他 (市内一円)	その他交通安全施設工 1式	44,164,191		
・事務費		1,901,000		
交通安全施設整備単独事業費 計		56,898,041		

項4 河川費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,032,962,000円	818,893,462円	79.3%	212,158,440円	1,910,098円

目1 河川総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
152,592,000円	151,629,923円	99.4%	0円	962,077円

〔一般職給〕 10人 80,777,311円 (県支出金 9,740円)

(河川排水課)

目的	河川・排水路等の適正な維持管理				
指標	河川維持補修率 (河川維持補修延長/河川全延長)	目標	26.7%	実績	26.7% (18年度 26.6%)
説明	災害等緊急時に河川・排水路・調整池等の能力が発揮できるよう重要度、緊急度を勘案しながら必要箇所について維持管理に努めました。河川維持補修率については、効率的な発注に努めたこと及び単価契約制度の導入により目標を達成しました。				

〔河川等維持修繕費〕 42,773,007円
市街化調整区域内の河川・水路の維持修繕

市管理河川

区 分	河川数	管理総延長
市管理河川	93	119,653 m
うち準用河川	23	50,893 m

〔河川台帳整備事業費〕	2,345,700 円	
準用河川部田川の河川台帳作成業務		
〔樋門等管理費〕	2,364,660 円	(国庫支出金 790,880 円) (県支出金 661,470 円)
国、県より受託した樋門及びゲート10箇所、市管理樋門、ゲート4箇所の管理業務		
〔調整池管理費〕	16,177,350 円	
市内56箇所の雨水調整池の管理		
〔溜池維持修繕費〕	3,109,050 円	(その他特財 155,452 円)
池の谷池の補修工事の実施		
〔負担金〕	740,900 円	
三重県河川協会等負担金		

目2 河川改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
880,370,000 円	667,263,539 円	75.8%	212,158,440 円	948,021 円

〔一般職給〕 2人 14,988,000 円

〔明許繰越〕 164,412,000 円
〔準用河川改修事業費〕 126,300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大字羽津地内)	工事費 L=106.1 m 護岸工 A=786.4 m ² 舗装工 A=519 m ²	48,000,000	国庫支出金 市 債	16,000,000 30,400,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町地内)	工事費 L=235.1 m 護岸工(左)A=1319.2 m ² (右)A=1964.2 m ² 床固工 1式 舗装工 A=536 m ²	78,300,000	国庫支出金 市 債	26,100,000 49,500,000
準用河川改修事業費計		126,300,000		122,000,000

〔高速道路関連事業費〕 15,630,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・伊坂町排水路改良 (伊坂町地内)	工事費 函渠工 L=112.8 m 集水柵工 4箇所 側溝工 L=77.5 m 舗装工 A=788 m ²	15,630,000	県支出金 市 債	5,210,000 10,400,000

〔地方特定河川等環境整備事業費〕 11,100,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三滝川ふるさとの川 (川原町地内)	工事費 L = 76.3 m カーブ工 A=810 m ² 花壇工 N= 2 箇所 ベンチ工 N=10 箇所 事務費	11,100,000	市 債	11,100,000

〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕 11,200,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	工事費 L = 79.3 m 張工 L=70.5 m 積工 L= 8.8 m 鋼矢板仮締切工 1 式 事務費	11,200,000	市 債	11,100,000

〔普通河川半谷川河川改良事業費〕 182,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (萱生町及び中村町 地内)	用地費 50.37 m ²	182,000	市 債	100,000

(河川排水課)

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率 (準用河川の整備率)	目標	53.3%	実績	53.3% (18年度 52.5%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも実施しなければならない重要な事業であり、本年度も準用河川改修事業、河川改良事業、排水路改良事業等を実施しました。河川整備率については、準用河川の3河川について事業を執行し、補正予算等による前年度からの繰越や翌年度への繰越もありましたが、目標を達成しました。				

〔準用河川改修事業費〕 72,840,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大 字羽津地内)	委託料 橋梁詳細設計 1 式 工事費 L = 106.1 m 護岸工 A=786.4 m ² 舗装工 A=519 m ² 事務費 (一部平成19年度明許繰越)	12,000,000	国庫支出金 市 債	24,280,000 46,100,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内)	委託料 橋梁詳細設計 1 式 工事費 L = 83.2 m 護岸工(左) A=469 m ² (右) A=654 m ² 事務費 (一部平成19年度明許繰越)	36,930,000		
・萱生川 (中村町及び萱町 地内)	工事費 取付水路工 1 式 仮設道路工 L=95.0 m 仮設橋梁 1 橋 負担金 三岐鉄道中村第3橋	23,910,000		

	梁改築工事委託に係る負担金 事務費 (一部平成19年度明許繰越)			
準用河川改修事業費 計		72,840,000		70,380,000

〔十四川調整池整備事業費〕 249,401,560 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川調整池 (大矢知町地内)	委託料 設計業務 1式 調査・境界査定 1式 登記業務 1式 工事費 地盤改良工 L=184.4 m 遮水矢板工 L=178.9 m 用地費 6,601.34 m ² 事務費 (一部平成19年度明許繰越)	249,401,560	市 債	248,700,000

〔治水度ジャンプアップ事業費〕 20,846,700 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・治水度ジャンプアップ (市内一円)	委託料 課題整理・基本方針 策定 1式 諸制度の検討 1式 河川測量業務 L = 23.6 km 検討業務 1式	20,846,700		

〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕 20,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	工事費 L = 87.0 m 張り掛け工 A=369.4 m ² 鋼矢板仮締切工 1式 事務費	20,000,000	市 債	19,000,000

〔普通河川半谷川河川改良事業費〕 9,114,180 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町及び平津町地内)	委託料 河川設計 L=300 m 断面検討 1式 河道調査業務 1式 境界杭復旧業務 129 箇所 調査登記業務 1式 工事費 L = 55.8 m プレハブ水路工 L=44.8 m 床版工 1 箇所 舗装工 A=164 m ²	9,114,180	市 債	8,500,000

〔河川単独事業費〕 119,737,099 円

事業区分	事業内容	実施額	うち特定財源	
------	------	-----	--------	--

(施工箇所)				
・河川改良事業 市内一円	委託料 1式 工事費 1式 補償費 1式	38,035,650	市債	30,200,000
・排水路改良事業 市内一円	委託料 1式 工事費 1式 補償費 1式	79,667,090	市債	75,600,000
	市単独事務費	2,034,359		
河川単独事業費 計		119,737,099		105,800,000

〔県営事業負担金〕 1,300,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔県単独〕 ・急傾斜地崩壊対策 事業 (山城地区)	負担金	1,300,000		

項5 港湾費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,692,798,000 円	1,689,514,404 円	99.8%	0 円	3,283,596 円

目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,692,798,000 円	1,689,514,404 円	99.8%	0 円	3,283,596 円

目的	四日市港が市民に親しまれる港になる				
指標	海上アクセス利用者数	目標	200,000 人	実績	158,105 人 (18年度 173,598 人)
説明	四日市港と中部国際空港(セントレア)を結ぶ海上アクセス事業については、事業目標である 200,000 人には及びませんでした。158,105 人の利用者がありました(平成 18 年度 173,598 人)。また、海上アクセス事業とあわせて、市民に親しまれる港づくりとしてのイベント「浜園さんばしフェスティバル」を開催し、延べ 4,115 人の来場がありました(平成 18 年度 3,148 人)。				

〔一般職給〕 10,957,783 円
 〔港湾事務費〕 302,431 円
 〔海上アクセスターミナル関連施設経費〕 77,145,720 円 (その他特財 15,130,500 円)
 〔四日市港管理組合負担金〕(特別負担金 19,511,470 円を含む) 1,599,798,470 円
 〔三重県港湾海岸協会負担金〕 350,000 円
 〔港湾都市協議会等負担金〕 110,000 円
 〔浜園さんばしフェスティバル負担金〕 850,000 円

項6 都市計画費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,847,304,000 円	4,193,468,623 円	86.5%	633,966,169 円	19,869,208 円

目 1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
448,553,000 円	437,609,570 円	97.6%	0 円	10,943,430 円

〔一般職給〕 17人 148,093,320 円 (県支出金 440 円)
(その他特財 11,131,212 円)
〔嘱託職給〕 1人 2,949,176 円 (県支出金 2,949,176 円)

(都市計画課)

目的	計画的な土地利用を進める				
指標	平成 19 年度末までに土地利用適正化のための制度整備を行なう	目標	条例等の制定・運用指針の見直し	実績	都市計画まちづくり条例、景観条例・景観計画の策定、都市計画マスタープラン全体構想の一部見直し
	市街化区域内人口比率		87.0% (H 21 目標)		86.3% (18 年度 86.2%)
説明	大規模開発許可制度廃止等の都市計画法の改正や、市都市計画審議会からの土地利用に関する提言を受け、市民による都市計画提案のしくみやまちづくり構想の位置付け等を定めた「都市計画まちづくり条例」を制定し、平成 20 年 1 月より運用を開始しました。また、景観法の施行により昨年 10 月に景観行政団体へ移行、これまでの都市景観条例(自主条例)を廃止し新たに「景観条例(施行は 20 年 4 月)及び同条例に基づく景観計画」を策定し、良好な景観形成を推進するための制度づくりを行ないました。また、都市に必要な産業立地を計画的誘導するため、都市計画マスタープラン全体構想の一部見直しを行ないました。				

〔委員報酬〕 450,300 円
・都市計画審議会委員 15 人
〔土地利用計画策定調査費〕 9,412,042 円
都市計画基礎調査等
〔景観計画策定事業費〕 819,000 円

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から公共交通利用への転換	目標	総合交通体系を検討	実績	公共交通活性化に向け総合交通体系関連調査に着手
説明	市内の主要駅を中心に歩いて暮らせるまちづくりを実現するためのアクションプログラムの策定(平成 21 年度目途)に向け、既成市街地整備調査や気軽に自転車を活用できる空間整備事業調査に着手した。一方、交通空白地域の市民の足を確保するため、市内 3 路線の自主運行バスの運行維持に努めるとともに N P O が運行する生活バスよっかいちへ支援を行いました。				

〔既成市街地整備事業調査費〕 2,414,000 円
〔気軽に自転車を活用できる空間整備事業費〕 1,156,000 円

〔地方バス路線維持費〕 39,027,450 円 (県支出金 6,495,000 円)
 磯津高花平線、神前高角線、山城富洲原線 (年間利用者数 延べ 75,242 人)
 〔市民自主運行バス支援事業費〕 3,600,000 円
 生活バスよっかいち 年間利用者数 (延べ 27,911 人)

目的	市民主体のまちづくりが進むよう啓発・支援を行う				
指標	まちづくり構想の策定地区数 (累計)	目標	4 地区	実績	4 地区 (18 年度 2 地区)
説明	平成 20 年 1 月 1 日に施行した都市計画まちづくり条例に基づき、「橋北地区都市計画マスタープラン」を策定しました。また、平成 17 年度から住民のみなさんにより作業が進められていた三重・富田地区まちづくり構想がほぼ完成し、本年 5 月に市へ提案されました。また、大矢知、楠、羽津地区でも構想策定に向けた勉強会を開催するなど、20 年度の構想策定作業に向けた準備に着手しました。				

〔まちづくり活動支援事業費〕 3,203,077 円

目的	都心居住を進める				
指標	中部地区の人口	目標	23,750 人	実績	23,758 人 (18 年度 23,713 人)
説明	諏訪新道第 3 地区において実施している敷地の共同化による優良建築物等整備事業について引き続き建築物新築工事に対し補助を行い、平成 20 年 3 月に完成しました。建築概要：15 階、延面積 4,825 m ² 、住宅 52 戸、店舗 2 戸)				

〔優良建築物等整備事業費〕 169,620,000 円(国庫支出金 84,740,000 円)

目的	里山を市民の手で保全する活動を支援する				
指標	市民緑地制度による支援団体数(累計)	目標	4 団体	実績	5 団体 (18 年度 2 団体)
説明	里山保全については、5 団体への活動支援を実施しました。平成 17 年度に開設した県地区の「グリーンパーク岡山」及び桜地区の「初瀬ビオトープ」の 2 箇所について適正な管理や追加整備を行うとともに、河原田(かわらだ竹林公園)、内部(貝家町ビオトープ)、四郷(八王子秋の小径)の 3 箇所において新たに市民緑地を開設しました。				

〔里山保全事業費〕 3,139,550 円

(開発審査課)

〔委員報酬〕 57,600 円 (その他特財 57,600 円)

・開発審査会委員 7 人

〔開発技術研修等負担金〕 83,000 円 (その他特財 83,000 円)

開発行為の許可申請件数(都市計画法第 29 条)	123 件 (113 件)
完了検査件数	123 件 (106 件)

〔開発審査事務費〕 2,997,208 円 (その他特財 2,997,208 円)

(管理課)

〔ふれあいモール維持管理費〕 5,266,038 円 (その他特財 2,670,232 円)

清掃・維持管理業務を委託 委託料 3,961,650 円 他光熱水費等

〔近鉄高架下土地管理費〕 34,780,275 円 (その他特財 7,026,840 円)

土地使用料 33,603,252 円 他

〔屋外広告物簡易除却事務費〕 4,274,187 円 (県支出金 4,274,187 円)

除却数 10,170 枚 うち除却ボランティア除却数 995 枚 (11 団体 126 人)

目2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
636,367,000 円	636,367,000 円	100.0%	0 円	0 円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 72,099,000 円)

目3 街路事業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,993,780,000 円	1,523,134,339 円	76.4%	466,372,819 円	4,272,842 円

〔一般職給〕 5 人 36,978,000 円

(市街地整備・公園課)

目的	円滑な交通とまちづくりの推進				
指標	近鉄連立進捗状況	目標	協定締結・事業着手	実績	平成 19.11 月 県、近鉄との協定締結
説明	踏切除却による慢性的な交通渋滞の解消と末永・本郷地区及び橋北地区の一体化をめざす近鉄川原町駅付近連続立体交差事業は、施行者である三重県が昨年度末に事業認可を受け、本年度より本格的に事業着手しました。年度目標に掲げたとおり、県・近鉄との3者による協定を締結するとともに、仮線布設に係る仮設道路の築造や代替地(末永町)内の上下水道の布設を行う等事業の促進に向けた支援に努めました。				

〔連続立体交差事業負担金〕 364,450,000 円 (市債 358,200,000 円)

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金

〔連続立体交差関連事業費〕 12,576,200 円 (その他特財 6,803,000 円)

仮設道路築造、代替地内上下水道布設

〔川原町駅周辺地区整備事業費〕 21,435,750 円 (市債 17,200,000 円)

陶栄滝川線高質化

〔公社健全化事業費〕 112,963,729 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
J R 富田駅前広場 用地取得事業	用地費	59,335,231	都市計画税	18,200,000
J R 四日市貨物駅 移転用地取得事業	用地費 公共用地特会への 支出	53,628,498		

(都市計画課)

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から公共交通利用への転換	目標	総合交通体系を検討	実績	公共交通活性化に向け総合交通体系関連調査に着手
説明	市内随一の交通結節点として多くの人々が利用する近鉄四日市駅の耐震化事業に対し支援(国・県・市の協調補助)を行ないました。また、市中心部のもうひとつの拠点駅である J R 四日市駅周辺活性化について、連続立体交差事業等の既計画の検証とともに、段				

階的整備など、より実現性が高い整備手法の検討を進めました。

〔JR 四日市駅周辺活性化検討〕 9,459,640 円
 〔近鉄四日市駅耐震化促進事業費〕 16,275,000 円

(道路整備課)
〔明許繰越〕

352,670,000 円

〔街路補助事業費〕

315,620,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	委託料 建物調査業務 用地費 A=290.53 m ² 補償費 物件移転補償 5 件 工事費 L=252.0m W=22.0m 排水工 L= 945.0m 舗装工 A=4,294 m ² 事務費	125,720,000	国庫支出金 市 債	173,591,000 141,800,000
	・環状 1 号線 (垂坂町地内)			
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路) 計	315,620,000		315,391,000
	街路補助事業費 計	315,620,000		315,391,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕

15,760,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (大字西阿倉川外 3 町 地内)	工事費 L=226.0m W=16.0m 排水工 L=448.8m 舗装工 A=2,737 m ² 植栽工 8 箇所 事務費	15,760,000	市 債	15,700,000
	地方特定道路整備事業費(街路) 計	15,760,000		15,700,000

〔街路単独事業費〕

21,290,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・環状 1 号線外 (垂坂町地内外)	委託料 建物調査業務 用地費 A=210.40 m ²	21,290,000	都市計画税 市 債	2,500,000 13,000,000

	工事費 付帯工 事務費			
--	-------------------	--	--	--

(道路整備課)

目的	街路の整備			
指標	街路の整備延長	目標	470 m	実績 470 m (平成 18 年度 1,118 m)
説明	<p>快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内の道路ネットワークを構築するため、幹線街路の整備に努めました。</p> <p>阿倉川西富田線の全面開通や千歳町小生線の一部区間（堀木日永線以西）の供用を開始したことにより、平成 19 年度の目標を達成し、また、生活道路への車両進入が減少したことにより、安全性が向上しました。しかし、一部路線において道路用地の取得が難航したために翌年度へ繰越しました。</p>			

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
阿倉川西富田線	平成 8 年度～平成 19 年度	100.0%
千歳町小生線	平成 14 年度～平成 20 年度	89.1%
環状 1 号線	平成 16 年度～平成 21 年度	47.4%

〔街路補助事業費〕

462,560,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	委託料 建物調査業務 工事費 L=315.0m W=22.0m 排水工 L=314.0m 舗装工 A=1,260 m ² 補償費 物件移転補償 1 件 事務費 (一部平成 19 年度 明許繰越)	13,130,000	国庫支出金 市 債	118,008,000 96,500,000
・環状 1 号線 (垂坂町地内)	工事費 L=320.0m W=16.0m 掘割擁壁工 L=29.2m 擁壁工 L=370.0m 排水工 L=745.0m 用地費 A=284.50 m ² 補償費 物件移転補償 2 件 事務費 (一部平成 19 年度 明許繰越)	201,430,000		

	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路) 計	214,560,000		214,508,000
〔まちづくり交付金〕 ・近鉄三岐富田駅前 広場整備事業 (富田四丁目地内)	用地費 A=1,202,71 m ² 補償費 物件移転補償 2件 事務費	248,000,000	国庫支出金 市 債	96,500,000 143,900,000
	まちづくり交付金事業費 計	248,000,000		240,400,000
街路補助事業費 計		462,560,000		454,908,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕 34,067,181 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・四日市関ヶ原線 (滝川町地内)	用地費 A=35.92 m ² 補償費 物件移転補償 8件 (一部平成19年度 明許繰越)	34,067,181	市 債	34,000,000

〔街路単独事業費〕 50,541,734 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千歳町小生線 ・環状1号線 ・四日市関ヶ原線 ・その他	委託料 測量調査設計業務 調査登記業務 建物調査業務 環境整備業務 工事費 付帯工 用地費 A=0.66 m ² 補償費 物件移転補償 1件 事務費	50,541,734	都市計画税 市 債	5,468,000 32,700,000

〔県営事業負担金〕 433,333 円

・富田山城線道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕 72,027,285 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線	用地費 公共用地特会への支出	33,651,180		
・阿倉川西富田線	用地費 公共用地特会への支出	1,308,486		
・赤堀山城線	用地費 公共用地特会への支出	6,126,794		

・環状1号線	用地費 公共用地特会への支出	17,610,682		
・富田本町線	用地費 公共用地特会への支出	9,968,632		
・橋北中学校 (高浜陶栄線)	用地費 公共用地特会への支出	3,361,511		
公社健全化事業費 計		72,027,285		

目4 公園管理費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
452,988,000 円	449,162,894 円	99.2%	0 円	3,825,106 円

〔一般職給〕 6人 53,925,576 円
 〔再任用職給〕 1人 3,617,235 円

(都市計画課)

目的	緑化基金を活用して市民の手で緑を保全する活動を支援する				
指標	花と緑いっぱい事業参加 団体数	目標	60 団体	実績	65 団体 (18年度 54 団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、公園や街路花壇で活動を実施する 65 団体に補助を行い、平成 18 年度の 54 団体から 11 団体増加しました。 (平成 19 年度末基金残高 190,572,100 円)				

〔花と緑いっぱい事業費〕 10,915,465 円 (その他特財 10,544,500 円)
 〔緑化基金積立金〕 3,203,029 円 (その他特財 2,544,029 円)
 〔コミュニティ助成事業費〕 2,000,000 円 (その他特財 2,000,000 円)

(市街地整備・公園課)

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護団体 数	目標	233 団体	実績	231 団体 (18年度 229 団体)
説明	住民との協働による効率的な維持管理が行えるよう公園愛護団体結成の啓発に努めた結果、平成 19 年度の実績は 2 団体増となりました。				

〔公園愛護会育成費〕 2,870,907 円 (その他特財 1,569,616 円)
 公園愛護団体への清掃用具等の貸与

目的	公園及び街路樹の適正な維持				
指標	事故件数	目標	0 件	実績	0 件 (18年度 0 件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成に努めました。				

〔公園施設管理費〕 343,512,126 円 (その他特財 4,043,973 円)
 公園の除草・清掃、公園樹木及び街路樹の剪定をはじめ公園施設全般の管理
 〔公園施設安全対策費〕 4,567,500 円 公園遊具の保守点検等
 〔公園施設維持補修費〕 22,742,600 円 公園施設の修繕、補修工事等

種別	開設箇所	開設面積	備考
----	------	------	----

公園緑地	398	289.9ha	うち街区公園 336箇所
街路樹	51路線	約11,000本	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

その他経費

〔公園緑地協会負担金〕

110,000円

目5 公園建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,315,616,000円	1,147,194,820円	87.2%	167,593,350円	827,830円

〔一般職給〕

2人

14,020,184円

（市街地整備・公園課）

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民1人当たりの供用面積	目標	9.26㎡/人	実績	9.25㎡/人 (18年度 9.24㎡/人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンの野鳥の森及びピクニック広場の完成により1.8haの供用を開始しました。また、垂坂公園・羽津山緑地の整備推進のため、事業用地の取得を行いました。これらの取り組みの結果、開発行為による公園の開設を含め供用面積は1.88ha増加したものの、市民一人あたり9.25㎡の公園面積となりました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕

204,400,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 公園整備工(園路工) 1式 管理施設設置工 1式 修景施設設置工 1式 事務費	46,000,000	国庫支出金 市債	23,000,000 20,700,000
・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	委託費 建物調査委託 1式 用地費 用地取得面積 14,836㎡ 事務費 (一部平成19年度 明許繰越)	158,400,000	国庫支出金 市債	52,800,000 95,000,000
公園緑地整備補助事業 計		204,400,000		191,500,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕

46,000,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 休養施設設置工 1式 修景施設設置工 1式	46,000,000	市債	46,000,000

〔霞ヶ浦緑地跨道橋耐震化事業費〕

0円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地跨道橋耐震化事業 (大字羽津地内)	工事費 跨道橋耐震補強工 1式 (平成19年度 明許繰越)	0		

〔霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業費〕 14,493,150円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業 (大字羽津甲地内)	工事費 園路整備工 1式 公園灯設置工 1式 委託費 設計業務委託 1式	14,493,150		

〔公園緑地整備単独事業費〕 635,925,747円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・市内一円の公園緑地	工事費 1式 委託費・調査設計 1式 用地費 用地取得面積 3,437㎡	65,870,668	都市計画税	96,432,000
・大気汚染対策緑地償還金	羽津山緑地事業費償還 楠中央緑地(公園緑地譲受費)	245,571,900 250,711,959		
・川原町駅周辺地区整備事業	工事費 1式	6,139,350	市債	4,500,000
・北勢中央公園建設負担金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	57,800,000 2,000,000	市債	46,900,000
・単独事務費		7,831,870		
公園緑地整備単独事業費 計		635,925,747		147,832,000

〔公社健全化事業費〕 246,375,923円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	43,938,995		
・南部丘陵公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	194,725,729		
・安島児童公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	7,711,199		
公社健全化事業 計		246,375,923		

項7 下水道費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,588,000,000円	8,588,000,000円	100.0%	0円	0円

目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,588,000,000円	8,588,000,000円	100.0%	0円	0円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,841,316,208円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 5,114,538,000 円

〔補助金〕

3,473,462,000 円

・下水道汚水処理費基準内 650,639,000 円

・下水道汚水処理費基準外 2,822,823,000 円

項 8 住宅費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
485,967,300 円	469,692,886 円	96.7%	0 円	16,274,414 円

目 1 住宅管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
391,634,000 円	380,765,725 円	97.2%	0 円	10,868,275 円

〔一般職給〕 9 人 71,390,878 円 (その他特財 71,390,878 円)

〔嘱託職給〕 2 人 6,068,044 円 (その他特財 6,068,044 円)

(市営住宅課)

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応住宅供給戸数	目標	275 戸	実績	275 戸 (18年度 267 戸)
説明	既存住宅を改良することにより、高齢者対応住宅を 7 戸、障害者対応住宅を 1 戸供給しました。				

〔高齢者・障害者向け改良事業費〕 26,065,795 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け改良工事 (三重団地外)	工事費 高齢者向 7 戸 障害者向 1 戸	26,065,795	国庫支出金	11,465,795
			その他特財	14,600,000

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	91.00%	実績	92.40% (18年度 90.81%)
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処しました。また、悪質な滞納者に対しては法的措置を実施しました。これらの措置を講じたことにより、目標以上の成績を挙げることができました。				

〔市営住宅維持補修費〕

144,289,465 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕	雨漏り、水漏れ修理 下水管貫通清掃、樹木の剪定等	53,050,330	その他特財	144,289,465
・空家修繕	空家の修理	84,006,615		
・その他	保守点検委託、保険料等	7,232,520		
維持補修費 計		144,289,465		144,289,465

〔市営住宅整備事業費〕

49,630,350 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・サッシ改良工事 (坂部が丘団地)	木製建具をアルミ建具に取替	22,260,000	国庫支出金 その他特財	21,337,205 28,293,145
・電気容量改良工事 (坂部が丘団地)	20Aから30Aに改良	8,704,500		
・屋上防水改修工事 (登城山団地)	塩ビ系シート防水に改修	5,439,000		
・除却工事 (城西町外2団地)	木造平屋建て住宅の除却	5,737,200		
・その他	三重団地手摺塗装外	7,489,650		
整備事業費 計		49,630,350		

その他経費

〔委員報酬〕	110,600 円 (その他特財	110,600 円)
・市営住宅入居者選考委員会委員 6人		
〔市営住宅整備基金積立金〕	4,478,228 円 (その他特財	4,478,228 円)
(平成9年12月設置 平成19年度末現在高 189,575,087 円)		
〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕	13,325,000 円	
〔負担金〕日本住宅協会	32,000 円 (その他特財	32,000 円)
〔管理人報償金〕	3,850,665 円 (その他特財	3,850,665 円)

(都市計画課)

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕 9,268,020 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
家賃対策補助 (ハレザ 未永外3団地)	対象戸数 30 戸	2,806,020	国庫支出金 県支出金	1,398,000 681,000
建設費利子補給 (ハレザ 未永外1団地)	補助金	6,462,000	県支出金	3,231,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		9,268,020		5,310,000

〔住宅整備資金融資貸付金〕

37,869,000 円(その他特財 37,869,000 円)

目2 住宅建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
94,333,300 円	88,927,161 円	94.3%	0 円	5,406,139 円

〔一般職給〕 2人 14,503,111 円

(市営住宅課)
〔明許繰越〕

39,065,300 円

〔市営住宅耐震補強事業費〕 39,065,300 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震補強工事 (茂福団地)	工事費 鉄筋コンクリート造4階 建の耐震補強工事	39,065,300	国庫支出金 市 債	16,736,000 14,400,000

目的	市営住宅の安全確保				
指標	耐震補強戸数	目標	78 戸	実績	90 戸 (18年度26戸)
説明	老朽化の進んだ高花平市営住宅について必要な耐震対策工事を実施しました。(42戸)また、繰越事業となっていた中層耐火構造の住宅(茂福団地の2棟48戸)の耐震補強工事を完成させ、長期使用する中層耐火構造の住宅の耐震補強工事は終了しました。				

〔老朽市営住宅耐震対策事業費〕 16,558,500 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事 (高花平団地)	工事費 コンクリートブロック造 2階建住宅の耐震対策工 事等	16,558,500		

〔曙町市営住宅建設事業費〕 17,797,500 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・アドバイザー業務 委託	委託料 建替事業支援、 基本設計作成	17,797,500	国庫支出金	8,008,000

〔市営住宅駐車場整備事業費〕 1,002,750 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・駐車場整備工事 (坂部が丘団地)	工事費	1,002,750		